



まちづくり通信『シスイッチ』の発行が 10 号となりました

NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会は、住民によるまちづくりの輪が広がることを願って活動し、住民活動団体の応援・コーディネート、住民交流イベント開催、まちづくり情報収集・広報活動などを通じて、町民が手を携えて、一つの家族のように、様々な取り組みを進めています。その役割の一つがこの『シスイッチ』であり、町への愛着、個人や活動団体のやりがいにつながっていただけるような紙面作りを心がけてきました。そこで、第 10 号発行の記念として、各方面の皆様からのお言葉をいただき掲載いたします。

NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会の皆様には、日頃の地域活動を通じ、住み良いまちづくりのためご尽力をいただいていることに対し、深く敬意と感謝を申し上げます。

特に、しすい駅フェスは、回を増すごとに様々な手法を凝らし、新しい地域交流の場として確実に輪を広げており、こうした魅力ある活動や、皆様のまちづくりへの思いが、この「シスイッチ」の発行を通じ、さらに多くの方々の心に届くことを期待いたします。

《酒々井町長 小坂泰久様》

シスイッチ 10 号の発刊、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会のみなさんの酒々井町への思いが身近に感じられる素晴らしい「まちづくり通信」だと思います。公益活動団体や町内各種行事の紹介記事が、行政広報とはひと味違った紙面づくりとなっており、大変見やすくわかりやすいと思います。改めて、みなさんの取り組みに対し敬意を表したいと思います。今後も、酒々井町の活性化のため、引き続き努力されることを期待しています。

《住民協働課 清宮課長様》

「シスイッチ」は、酒々井町のイベントや様々な団体の取り組みがよくわかる情報通信で毎回楽しみにしております。

「KOKO」をオープンして間もなく 1 年になりますが、「輝け酒々井まちづくり研究会」の皆さんに、お店の紹介をしていただいたり、駅フェスや千葉氏まつりの参加にもお声かけいただきました。これからも町の情報の中心とし「シスイッチ」は存在し続けてほしいです。しすい駅フェスも定期的にも実施され、酒々井町の文化になっていかれることを願っております。

《みんなの居場所 KOKO 代表様》



酒々井まちづくり研究会 山中
春日にお祝い申し上げます
歴史の古い(新築)酒々井町
を盛り上げたい。富士山も
日本一素晴らしい町に
と願う。又、酒々井町を新築
申し上げます。

《しすい駅フェスの来場者様》

この度は第 10 号シスイッチの発行おめでとうございます。

「シスイッチ」に、B-Net の活動のことを、何度か取り上げていただいております。私が B-Net に加入した 1 年目、夏祭りの感想文を載せていただいたことがとても嬉しく、覚えております。「シスイッチ」を通し、我々の活動を町の皆さんに知っていただく機会をいただいていることに感謝申し上げます。

これからも「シスイッチ」と一緒に酒々井町を盛り上げていきたいと思っております。

《NPO B-net 子どもセンター様》

「シスイッチ」も発行第 10 号とのこと、当初のスタートが「まちづくり通信」でしたが、より良い方向への転換との趣旨から「シスイッチ」の名称となり住民の皆様にも親しまれてきたのではと感じています。酒々井町は、まちづくりに取り組む活動団体も多く、それらの団体を様々な視点から取り上げ紹介されており、新たな広報誌として認識されています。また、町の行事についても住民活動に関連のある行事を紹介するなど、町の広報の一助を担っていると思われまます。更なる充実を期待しております。

《酒々井紙芝居の会 木谷 靖様》

飯沼本家『まがり家』

飯沼家 300 年と言われているが、その根拠は門を入った左側にある、金毘羅神社の石碑によって知ることができる。

これは私から数えて6代前の飯沼治右衛門の墓誌である。明治 20 年から 23 年の間に書かれたもので、佐倉藩の儒学者の續豊徳により書かれている。

これによると、「飯沼氏素為郷右族中世産頗荒」という一文がある。中世とはおそらく徳川幕府より以前のことだろう。定かではないにしても、江戸時代の初期には、馬橋村に定住していたとみても大きな差異はないだろう。

そして、いまある母屋は江戸時代中期に建てられた家である。

社会インフラや世相の違いがあるとはいえ、300 年という膨大な時間は、徳川時代から明治維新を経て 2 度の世界大戦と、今を凌ぐ激動の時代であった。それに加えて 5 年ひと昔の現代を飄々と渡ってきた飯沼家である。

私が知っているのは祖父までで、それ以前は全く接点のない知らない人たちである。が今回、文化財登録の過程で知った先祖が暮らした軌跡はいままで知らなかった先人の息吹を感じ、この激動の日本を乗り切って今を作ってくれた先祖に深い感謝の念を抱かせてくれた。今まで考えたこともなかった「繋ぐ」「継続する」ということの難しさ、大変さを実感し、改めて飯沼家という一本の線の一部としての自分の役割を考えさせられている。



まがり家は新潟県の「旧清野邸」を移築したものです。酒々井の自然と、不思議なほどひとつになって、日本人が忘れてしまった時間を思い出させてくれます。

㈱飯沼本家 常務取締役 飯沼 一喜

※今回の町再発見は、飯沼本家の後継者より特別に紹介していただきました。



駅から出発～「きへい号」で出前・交流スポット～ネオポリス自治会

助成金を活用して購入した軽乗用車「きへい号」が 1 月 20 日(土)にネオポリスに向いて出前交流スポットを開設しました。

南酒々井ネオポリス自治会と共催で、寒波襲来で寒い冬空の下でしたが大勢のネオポリス住民の方々が参加され、「きへい号」を中心にドリップしたばかりの美味しいコーヒーのサービスや、隣に開設したしがらき茶屋ではお茶と牡丹餅で交流を深めて頂きました。自治会からは豚汁と弁当も提供されました。集まった子ども達には紙芝居を見て楽しんで貰い、町図書館の協力で開設した移動図書館では絵本の立ち読みや貸し出しのサービスも行われました。自治会館ではのんき亭万福さんの落語二席が上演され、笑みを浮かべて元気に帰途につかれた高齢者の皆さんの姿が印象的でした。

この先も「きへい号」の機動性を活用して、町中央から離れた地域に向いて、交流の場づくりを続けて行きたいと計画しております。「きへい号」の活躍にご期待下さい。



【出前・交流スポットとの出会い】

1 月 20 日の出前・交流スポットの開設では、NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会のスタッフの皆さんには早朝から準備を進めていただき心から、感謝申し上げます。

当日は生憎の小雨模様でしたが、町内会員 50 名程が参加し楽しいひと時を過ごすことができました。またこのような催しを企画してほしいとの要望がありました。ネオポリス自治会としても大変貴重な経験をさせて頂き、これからの地域のコミュニティ作りの一環として取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

ネオポリス自治会 会長 佐山良蔵



ネオポリス自治会 会長からの感想をご紹介します。

郷土研究会「七草粥を食べる会」で春を感じる

おじゃまし
ます

活動拝見

まだ、寒さの残る 2 月初旬、郷土研究会の主催する『七草粥を食べる会』に参加し、活動を拝見して来ました。この会は、昭和 53 年から続けられて今回が 38 回目を向かえた毎年恒例の事業です。春の七草【せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ】を酒々井町内から採取し、酒々井産の米で丁寧に作られています。

副菜には、季節を感じる野草のてんぷらや和え物、こうした

食材も全て酒々井の地元のものにこだわって、目にも楽しい趣向で、おもてなしの心が随所に感じられ、豊かな気持ちのひと時を過ごすことが出来ました。

中心となる野草部のメンバーと多くの人達の協力で、この歴史ある素敵な事業が続けられているが、広くは町民に知られていない。興味のある方は是非、郷土研究会に入会して、この酒々井の食文化を継続していただけるように願う気持ちです。日本に古くから伝わる七草が、酒々井で伝統となっていることに敬意を表したい気持ちがあふれました。

郷土研究会は、郷土文化の向上に尽力し、歴史文化、地誌、考古、風俗、自然等について調査研究してきたことが、認められ、昨年、千葉県教育功労者(団体)表彰を受賞されました。改めて、素晴らしい団体が酒々井に存在していることを、広く町民の皆様にご存知いただきたいと思います。



人 キラリッこの人!

「マジックで感動と笑いを」

しすいマジック倶楽部 笹本 貞敏 (Mr.珍軒采)



この会は平成 15 年に公民館の主催事業から始まりました。リング・ロープ・トランプ・ジャグリング・シルク等のマジックを演じて、酒々井、富里、佐倉、成田の介護施設を慰問したり 自治会のイベントや小学校の課外活動等で、年間 15 回くらいのボランティア公演を行っています。現在はゆでびー・ナポレオンⅢ・イーグル浜田・千代鶴の芸名をもつアマチュア仲間と感動と笑いをお客さんに届けるとともに、マジックがうまく演じられ大歓声が上がった時の喜びに自分達も感動をもらっています。技術の向上 維持を図るため年 2 回プロの先生を招いて研鑽したり、ネタの開発、自作等で 指先を使うことにより脳の活性化にもつなげています。マジックに興味のある方 マジックで地域デビューしてみませんか。



チケットは完売致しました。ありがとうございました。

ウィーンフィルの響き in 酒々井

元ウィーンフィル コンサートマスター

パラシュケヴォフ演奏会

2018.3.18(日)

13時半開場 / 14時開演

プリミエール酒々井文化ホール

千葉県印旛郡酒々井町中央台3丁目4番1
JR成田線(快速成田空港行)酒々井駅西口下車徒歩10分



Vesselin Paraschkeov

毎回、好評の国際的に活躍している方を招聘しての音楽会です。お陰様で、チケットは全て完売となりました。今回、お求め頂けなかった皆様には申し訳ございませんでした。お買い求めいただきました皆様には、御礼お申し上げます。

井戸端寄席

3月10日(土) 午後1時開場 / 1時半開演
井戸端交流サロン

落語(絶好調、万福、島っ考)語り(洋子)

爆笑よもやま噺(新兵衛)

ゲスト: せんよう亭甘栗

講談 赤穂義士伝外伝「宇都宮十兵衛」



酒々井お花見寄席

酒々井町の素人芸人集団「五色豆」

第20回記念公演

4月21日(土) 午後1時開場 / 1時半開演

酒々井プリミエール文化ホール(全席自由)

「笑わせます! 楽しませます! 寿命を延ばします!」

五色豆の口上、落語4席、語り、爆笑よもやま噺

ゲスト: 鹿鳴家河童

問い合わせ先: のんき亭万福 090-4837-5691

NPO 法人 輝け酒々井まちづくり研究会では、賛助会員・活動会員を募集しています。

編集後記

きへい号による移動図書館は、前回の駅フェスでお披露目となり、ネオポリスでは町立図書館との連携によって公共の書籍の貸し出し業務を行うことが出来ました。建前ではない本当の意味で実効力のある「官民連携」を今後も目指したいと思っています。